

# 2019年度事業報告

社会福祉法人カメラ

# 2019年度事業報告

社会福祉法人カメラア

## 1. 2019年度の総括

当法人は乳幼児や児童に係る事業を中心に据え、2020年3月現在で児童心理治療施設1施設、幼保連携型認定こども園1施設、保育所2施設、小規模保育事業4施設、放課後児童健全育成事業5施設、共同生活援助グループホーム1施設の14事業所を運営している。

2019年度はかめりあ天空の森保育園の新築工事が大きな新規事業として行った。事業にあたって、大村市内の待機児童数に寄与するべく、当初計画よりも定員数を増やし、105名定員の保育施設として整備を行った。また、定員増に伴う協議等により、工事開始が当初より3カ月程度の遅れたことで開園延期も危惧されたが、2020年3月28日に竣工できた。新築工事では建設工事に等における社会情勢の変化に伴い、建設資金は当初計画から増加することとなった。また、竣工から開園までの日数がなく、かつ新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、事前の施設見学や竣工式等の催しは未開催とした。

前年度に経常収支において赤字による運営となっていた児童クラブは、利用者数の増加に伴い黒字となった。しかし、かめりあ原口児童クラブは施設の老朽化、職員配置の効率化を図るために、次年度中の廃止を進めている。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策としての「家庭保育の協力」に伴い、2020年3月からは児童クラブの利用者数減少は顕著で、運営費収入の在り方を今後の課題として検討していくことも必要である。また、あじさい保育園の一時保育事業においても、同様に運営費収入の課題を注視する必要がある。かめりあこども園を含む保育事業所では、10月から実施された「幼児教育・保育の無償化」については、管理者間で情報を共有し対応し、大きな混乱に至ることはなかった。しかし、かめりあこども園では1号認定から2号認定への移籍希望が増加し、次年度は定員変更を予定している。大村椿の森学園においては、西大村分教室における教職員からの児童体罰が発生し、特別支援学校所管においても教育的課題は継続している。また、厨房職員のノロウイルス感染に伴う給食提供の一時停止、新型コロナウイルス感染予防としての外部交流の停止等の緊急対応もあった。

新規事業を展開する一方、継続的に人材確保や人材育成にも取り組みを進めた。実習生の積極的な受入、保育補助員制度の活用、各制度を活用しながらの処遇改善（給与等）等を取り組んだ。年度中の育児休暇取得者は10名、育児休暇からの復帰は3名となっているものの、妊娠や出産、保育園入所ができずに離職した職員が5名となっており、特にパートや非常勤職員の出産や育児を支える仕組み作りも今後の検討課題として挙げられる。人材育成においては、専門的知識や技能の習得に向けた研修等の充実を図り、併せて管理職の資質向上に向けた取り組みを開始した。専門職としての経験だけでなく、知識に裏付けされた取り組み、組織としてのコンプライアンス、地域社会における使命の実践等を図る管理職育成を進めた。

財政面においては、事業活動収支収入は前年比5.1%増、同収支差額は7.7%増であった。人件費率

は63.3%と前年同水準（支出に占める人件費割合77.7%）となり、大村椿の森学園59.8%、かめりあこども園66.5%、あじさい保育園79.4%、児童クラブ53.0%と、業種や地域による違いもあるが事業所間の差は大きい。特に保育部門における人件費上昇は注視しながらも、社会的情勢を考慮しつつ必要な人材確保に向けた取組みは継続していく。また、住居手当創設、通勤手当増額等を図り職員一人当たりの人件費は増加しているものの、人件費が前年同水準となった背景としては十分な職員加配や補充等ができなかったことも要因である。また、かめりあ天空の森保育園の新築工事に伴い、借入金が増加することとなるため、今後より一層の安定経営を行うことも必要である。

2019年 9月 9日 かめりあ天空の森保育園新築工事入札

2020年 3月 28日 かめりあ天空の森保育園竣工

## 2. 事業所の概要

施設種別	施設名	所在	定員
児童心理治療施設	大村椿の森学園	大村市	55名
幼保連携型認定こども園	かめりあこども園	大村市	210名
保育園	あじさい保育園	市川市	100名
	いちよう保育園	大崎市	90名
小規模保育事業	かめりあ保育園	大村市	12名
	かめりあ三城保育園	大村市	19名
	かめりあ三城第二保育園	大村市	19名
	かめりあ三城第三保育園	大村市	12名
放課後児童健全育成事業	かめりあ児童クラブA	大村市	40名
	かめりあ児童クラブB	大村市	40名
	かめりあ児童クラブC	大村市	40名
	かめりあ三城児童クラブ	大村市	40名
	かめりあ原口児童クラブ	大村市	40名
共同生活援助事業	グループホーム元気ハウス	大村市	11名

## 3. 事業所の実績概要

### 3-1 大村椿の森学園

入所児入所及び通所のいずれにおいても前年より増加。治療においては、個別の心理面接に加え、集団活動の充実を図った。小中学生の教育体制においては、特別支援学校分教室2年目の運用となり、教職員から児童への体罰事案が発生する等の教職員体制の課題は見受けられた。職員処遇においては、業務改善も積極的に行い、より働きやすい環境整備に努めたが、中堅職員の離職が相次

いだ。また、5月に厨房職員のノロウイルス感染による厨房機能の一時停止、3月に新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校休校や外出等の自粛等、様々な緊急対応を求められる中でも職員と児童が一体となって取組みをできたことは、児童への治療効果としても評価できる。

### 3-2 かめりあこども園

入園児童においては、10月からの幼児教育無償化により、1号認定から2号認定への移籍児童が23名となり、定員見直しの検討を開始するに至った。また、無償化に伴い、預かり保育料金、設給食費、行事費についての検討も行った。教育保育においては前年度、園庭整備を行ったことで、園庭での事故、怪我は減ったが、アレルギー児への給食提供の仕方についての共有理解が十分ではなく、アレルギー児への誤食があり、対応方法の全面的な見直しを図った。また、全職員による施設運営の自己評価を実施。評価すべき点と課題とが明確化されたために、次年度以降の改善に活かしたい。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3月は1号認定を休園措置、2・3号認定においても、「家庭保育の協力」を依頼し、3月以降の各種行事は異例の縮小または中止とした。地域子育て支援拠点事業では利用者数は減少したが、マタニティー用のプログラムを開始し、他施設との差別化を図った。

### 3-3 あじさい保育園

保育士確保において、複数名の保育士を採用できたが、早期退職となり定着に至らなかった。そのため、園児数を十分に増やすことができなかった。保育の質の向上においては、外部研修の受講に偏りが生じたため、必要な研修を受講できるようにしていく。保育の面では、行事等の見直しを行い、お遊戯会を3歳以上児、2歳未満は親子ふれあい会に変更し、子どもたちは無理なく参加でき、保護者からも好評であった。また、近隣に6園保育園が開園し、市全体での待機児童が減るため、検討をしていた小規模保育園開設は難しく、一時保育の需要も減少に向かう可能性がある。さらに、2月以降、市川市では新型コロナウイルスの感染拡大が顕著となる中、保護者の協力を得て、園としても感染対策に努めた。

### 3-4 いちちょう保育園

保育面では目標である「一人ひとりの発達に応じた保育」と「保育環境の整備」を実践。子どもの成長だけでなく、職員の保育に対する意識変化も少しずつ見え始めている。職員の人材育成では、ケース会議を通じた知識・技術の向上を図り、組織における階層別職責の明確を目指した研修等も行った。2月以降は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、行事等の中止や変更も行った。また、産休育休取得中の職員5名となっており、復帰後も子育てとの両立を図ることができるように職員加配も検討したいが、次年度の収支見込は厳しいことから2019年度決算においては人件費積立も実施する。

### 3-5 かめりあ保育園

園児数は定員数12名で開始。園児数が少ないが故に体験不足になりがちのため、関連施設職員派遣による「英語遊び」、公共交通機関を利用した園外保育、地域の畑で野菜の収穫、子育て支援

センターとの交流などに力を入れた。2月以降は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、園の対策を保護者に周知し協力していただいた。職員については、園児のSIDS防止の為に午睡チェックの強化、保育補助として子育て支援員の雇用、障害者雇用を行った。障害者雇用については、その能力を発揮し活躍できる環境作りは今後の課題である。

### 3-6 かめりあ三城保育園

職員確保については、看護師、子育て支援員を採用し、新入园児の受け入れを積極的に行った。2月以降は新型コロナウイルス感染防止対策として、お別れ遠足等の一部行事は中止した。また、事故防止を含めた環境整備の強化として、チェックリストを導入し、職員相互の意識変化と速やかな改善を図った。職員の専門性向上においては、園外研修の場を十分に確保できなかった。

### 3-7 かめりあ三城第二保育園

重点目標であった保育室換気については、「換気」と「防犯上の安全管理」の両面に配慮しながら対応を行った。施設の構造として窓の設置は難しいために、同フロアのかめりあ三城保育園と連携しながら換気対策を今後も進めたい。また、AED講習やエピペン使用、アレルギー対応等について園内研修、散歩中の事故防止のための「お散歩マップ」「散歩計画表」を作成するなど、安全対策に継続的に努めた。

### 3-8 かめりあ三城第三保育園

安全管理の取組みとして、3園合同の避難訓練を様々な場所からの火災を想定して実施。エレベーターを待つ場所に目印を付けたり、職員配置を再確認する等の安全性向上を図った。病院受診につながるアクシデントも発生したことから、保育環境の見直し、職員間連携、保護者連携等の防止策に努めた。

### 3-9 かめりあ児童クラブA、B、C

2019年度は20名の新規入所者があり、年間契約児童数50名で開始。前年度末(3月期)で比較すると16名の増加となるが、2018年度中に12名の退所児童がいたために4月期で比較すると9名の増加となっている。児童数の増加に伴い、4月よりかめりあこども園の運動場拡張工事にて整備された運動場の使用を開始し、新たに送迎車も整備した。施設内での活動も多目的ビルの各フロアを効率的に使用することで生活空間の確保に努めた。2月以降、新型コロナウイルス感染拡大を受け、大村市内でも3月3日から小学校の臨時休校が始まり、急遽、午前より放課後児童クラブでの受け入れが実施された。

### 3-10 かめりあ三城児童クラブ

2019年度は4月に新規入所児童17名を受け入れ、開園後初めて定員40名を超え、45名からの新年度開始となった。常に待機児童を抱えている状況となっており、中途退所があっても、新規入所で補充することができていた。職員については非常勤職員2名の採用や、長期休暇中のパート・

アルバイト職員の採用などができており、一定数を確保することができていた。2月以降、新型コロナウイルス感染拡大を受け、大村市内でも3月3日から小学校の臨時休校が始まり、急遽、午前より放課後児童クラブでの受け入れが実施された。

### 3-11 かめりあ原口児童クラブ

2019年度4月の新規入所者は9名であり、昨年と同様36名からのスタートとなった。かめりあ原口児童クラブは開所して12年が経過しており、建物の老朽化や耐震面を考慮し、2020年8月末を持って閉鎖することとした。閉鎖後についてはかめりあ児童クラブABCと統合し通所継続可能であることを保護者へ通知し、2020年度の新規入所を希望する保護者についても説明を行った。2月以降、新型コロナウイルス感染拡大を受け、大村市内でも3月3日から小学校の臨時休校が始まり、急遽、午前より放課後児童クラブでの受け入れが実施された。その際、家庭保育に協力していただいた保護者が継続して家庭保育が可能になったことでの退所希望や、来年度8月末で閉鎖と重なって、3月末日付けの退所者が16名となり、2020年度の通所児童数の減少が予想される。

### 3-12 グループホーム元気ハウス

2019年11月で開所して1年間が経過。入居者数の推移としては新規入居1名、退居1名と定員の動きはほぼなかった。退居者は精神症状悪化だけでなく、高齢による日常生活の維持が難しくなったこともあり、有料老人ホームへの転居となった。今後についても、入居者の平均年齢が57.6歳（最高齢71歳）となっているため、精神症状だけではなく身体的な活動性の低下や転倒などによる怪我や事故等がないように見守りや支援が必要である。2月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外来通院や日常生活（買い物や外出等）、他事業所との面談等においても、頻度や範囲の制限や中止等の対応が行われている。通常的生活環境（習慣）が変更・制限されたことでの症状悪化が無いように、感染予防だけでなく精神面でのサポートに配慮していく。

## 4. 法人本部、全事業所に係る実績

### 4-1 理事会、評議員会

複数の新規事業を展開したことから、法人内の意思決定を諮るため、理事会を8回開催、評議員会を1回開催し、法人としての組織統制と牽制を図った。

・役員数 評議員7名、監事2名、理事6名

・理事会 8回開催

2019年5月29日、6月19日、8月22日、9月9日、11月28日、12月19日

2020年1月30日、3月23日

・評議員会 1回開催

2019年6月19日

#### 4-2 人材育成と人材確保

人材育成においては特に管理職、中間管理職の人材強化を図るため、2019年8月22日～23日、12月5日～6日に施設長を対象に、安全管理に関する内容を中心に法人内研修会を行った。また、リーダーシップや財務管理など管理者向けの外部研修への派遣し研鑽を図った。さらに、2019年4月に初めての新規採用者向けの法人内合同研修会を実施し、勤務する事業所だけでなく法人としての取組を学ぶ場の提供を図った。また、各事業所においては事業内研修、外部研修の派遣を行う等、専門性の向上を図ると共に、事業所毎の制度に則った処遇改善事業も実施した。人材確保においては、ハローワークへの募集だけでなく、実習受入等も積極的に行ったが、十分な人材確保には至らなかった。

#### 4-3 法人本部機能の強化

事務処理統一化に向けて、旅費規程の見直し、出張関係書類の統一化、就業規則及び給与規程の見直しを図った。人事管理、組織としての意思決定、会計処理や書式等の一元化及び標準化を図るよう、今後も継続的に協議を実施していくこととする。また、ホームページをリニューアルし、情報発信体制の整理を図った。

#### 4-4 その他

ホームページによる情報公開及び各事業所における情報発信は適宜実施した。また、苦情対策は要綱に従い対応し、苦情解決第三者委員の活用までには至らなかったが、第三者委員に来所してもらい利用者や職員との交流を図った事業所もあった。安全管理面においても、日常的な安全点検等は勿論のこと、計画的な避難訓練の実施、災害時を想定した非常食体験等にも取り組んだ。

## 5. 地域貢献への取組み

乳幼児や児童に係る地域のニーズ、社会問題に幅広く貢献できるような取組みを実施した。また、2019年度は地域貢献活動として「フードバンクシステムによる、ひとり親家庭生活困窮世帯への「宅（食）所」「健康」「相談」総合支援に関する運営に参画した。

#### 5-1 地域の子育て、児童福祉等に係る連携

- ・ 地域の子育て、児童福祉等に係る会議への参加

大村市要保護児童対策地域協議会、大村市相談業務担当者会、大村市子ども安全管理士協会、市川市子育て支援委員会、大崎保育研究会委員会、つなぐBANK 他

#### 5-2 地域の子育て、児童福祉の人材育成に係る取組み

- ・ 教職員、民生児童委員等の施設見学及び児童虐待等に係る講義

令和元年大村地区初任者研修（特別支援学校）、下関市民生児童委員 他

- ・ 外部機関の研修会等における講師派遣  
令和元年度児童福祉司任用後研修、大村市子育て支援員研修講座  
大村市立富の原小学校「総合的な学習の時間」、妙典中学校キャリア教育セミナー 他
- ・ 各種実習生の受入  
長崎大学、千葉大学、東京未来大学、長崎短期大学、長崎女子短期大学、精華女子短期大学、九州大谷短期大学、近畿大学九州短期大学、宮城誠真短期大学、福島学院大学短期大学部、福岡こども短期大学、九州医療専門学校、長崎医療こども専門学校、日本児童教育専門学校  
仙台こども専門学校、仙台幼児保育専門学校、こども L.E.C センター 他
- ・ 職場体験の受入  
長崎県立大村高等学校、大村市立富の原小学校、大村市立桜が原中学校  
市川市立妙典中学校、市川市立南行徳中学校校、大崎市立古川南中学校
- ・ 地域との交流  
市川市立妙典中学校ふれあい交流会
- ・ 施設見学等  
大村市保育園・こども園見学ツアー 他

### 5-3 寄稿、発表

第 67 回九州児童福祉施設職員研究大会 事例発表  
「ケアニーズの高い子どもの支援」(小牧誉和)

2019 年度全国児童心理治療施設協議会職員研修会 事例発表  
「大村椿の森学園でのトラウマインフォームドケアの取り入れ」(山内奈緒子)

2019 年度全国児童心理治療施設協議会職員研修会 事例発表  
「二者関係に恐怖を持つ児童の回復過程」(林田暁子)

## 6. 法人の沿革

- |        |     |                         |
|--------|-----|-------------------------|
| 2002 年 | 5 月 | ・ 社会福祉法人カメラ設立           |
| 2003 年 | 4 月 | ・ 情緒障害児短期治療施設 大村椿の森学園開設 |
| 2006 年 | 5 月 | ・ 大村椿の森学園 多目的施設竣工       |
| 2008 年 | 3 月 | ・ 富の原くじら児童クラブ開設         |



- 2008年 4月
  - ・大村椿の森学園 定員変更（入所定員を35名から40名へ変更）
  - ・厚生労働省 2008年度障害者保健福祉推進事業
- 2009年 4月
  - ・大村市立竹松幼稚園、竹松保育園の民営化に伴う事業譲渡によりくじら認定こども園の事業開始
- 2010年 3月
  - ・大村椿の森学園 内部改修工事
- 2011年 4月
  - ・いちょう保育園開設
  - ・あじさい保育園開設
- 2012年 4月
  - ・くじら認定こども園をかめりあこども園へ名称変更
  - ・富の原くじら児童クラブをかめりあ児童クラブへ名称変更
- 2014年 7月
  - ・かめりあこども園新築移転
- 2015年 9月
  - ・小規模保育園 かめりあ保育園開設
- 2016年 4月
  - ・小規模保育園 かめりあ三城保育園開設
- 2016年 12月
  - ・大村椿の森学園 グラウンド竣工
- 2017年 4月
  - ・児童福祉法改正に伴い、大村椿の森学園の施設種別名称変更  
児童心理治療施設 大村椿の森学園
  - ・かめりあ富の原児童クラブ開設
  - ・かめりあ三城児童クラブ開設
- 2018年 1月
  - ・かめりあ三城第二保育園開設
- 2018年 3月
  - ・かめりあ多目的棟ビル竣工
  - ・大村椿の森学園 学習棟整備
- 2018年 4月
  - ・かめりあ児童クラブをかめりあ原口児童クラブへ名称変更
  - ・かめりあ富の原児童クラブをかめりあ児童クラブへ名称変更
  - ・かめりあ児童クラブの新築移転
  - ・かめりあ児童クラブB、C開設
  - ・大村椿の森学園の教育体系が県立大村特別支援学校西大村分教室に移管
- 2018年 11月
  - ・共同生活援助事業 グループホーム元気ハウス開設
- 2019年 1月
  - ・小規模保育園 かめりあ三城第三保育園開設
- 2019年 3月
  - ・かめりあこども園 運動場拡張整備
- 2019年 12月
  - ・かめりあ天空の森保育園 職員駐車場整備
- 2020年 3月
  - ・かめりあ天空の森保育園 竣工

以上